

# 市民のみなさまへ 公共下水道は必要！

意見広告

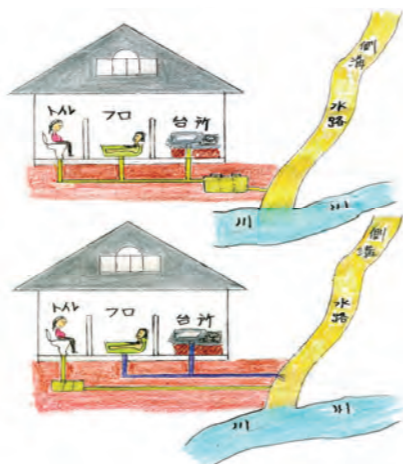
緑

豊かな田川市。豊かな川の恵みを頂いて暮らしてゆけることはとても幸せ……。でも、ちょっと周りを見つめると結構いやな事が見受けられるのでは…？

浄化槽が有ると言うけど、けっこう家の周りがくさくないですか…？

田川市は30年前から**17億円**の下水道整備基金を積み、市営住宅の大型合併浄化槽を含む**市中心部、300ha**の公共下水道化を目指してきました。

しかし、**市長がこの方針を撤回**、合併浄化槽での汚水処理に転換しました。



上図：合併浄化槽

下図：単独浄化槽

と

ところでお宅のトイレはどうなっていますか…？

また、炊事場やお風呂の汚れた水はどこに流れているか知っていますか…？

じゃあああ〜と流せば我が家は清潔。

そうなんです、でも**それで良いのでしょうか…？**

トイレは **ぼっとんトイレ** ただ、ためて汲み取りさんに汲んでもらう  
**簡易水洗** 水洗みただけで 水で流してタンクに貯めるだけ  
**単独浄化槽** トイレだけの処理でいくらかきれいにする機能はあるが炊事場、風呂場の水は側溝を伝って直接川へ  
上三つは **炊事場やお風呂の汚れた水は 町なかの排水路にたれ流し。**

最近では **合併浄化槽** というすぐれものが普及し、トイレで流した水や炊事場やお風呂の汚れた水を一緒にきれいにする設備が普及していますが、排水を側溝に流すのは同じです。

昔、設置した浄化槽は単独浄化槽が多いのですが、お宅のは どのタイプですか…？

町の中心部は家と家が密集し、合併浄化槽を設置するスペースがありません。また、今ある単独浄化槽や合併浄化槽も老朽化し、いずれ改築が必要となりますが、そのためには家の一部を壊さないと出来ない場所もあり、改築も困難な状況です。

そ

ここで、町なかの水環境を守る特効薬、**公共下水道**。全国の80%を超える市

町村で実施。県下28市で**公共下水道が無いのは2市**で、その一つが田川市です。家が密集している町なかでは一戸一戸に浄化槽を作らず、汚れた水を直接パイプで受け止め、町のはずれに作った大きな処理場でまとめてきれいにするという合理的な仕組みです。

国は建設費の70%以上の補助金を出してこの仕組みを全国に普及。

これで東京の隅田川や北九州の紫川や洞海湾などなど、死の水辺を復活させてきました。

かえりみれば、彦山川や中元寺川の汚いこと、町中のくさいこと。

これは全く処理されていない生活排水や処理が不十分な浄化槽からの汚水や工場からの排水によるものです。



郊外に設置した合併浄化槽は適正な管理の下では良い施設ですが、しっかり管理していないと汚い水が農業用水路などに流れ出たり、大勢の来客で容量を超える使用では「生し尿」があふれ出ます。

また、**一軒のお宅が払うお金** は、**40年間**で

**合併浄化槽**で **400万円**くらい (毎年7万円×40年+設置費など)

**公共下水道**で **200万円**くらい (下水道料金4万円×40年+受益者負担金など)

これを見ても公共下水道が優れているのが明らかです。

町

なかでの**公共下水道**が出来れば、浄化槽の管理や老朽化による作り替えがいらなくなり、家や店舗やビルを建てるときにも浄化槽を作らずにすみ、建設費を安く抑えることができます。特筆すべきは、田川市中心部に有る約5000世帯の市営住宅、20団地にある大型合併浄化槽を一箇所の公共下水道処理場で一括管理ができ、大変**経済的**です。また、町の中心部の開発とコンパクトシティー化が進み、**地域経済が活性化**します。

その上、町なかの側溝には汚れた水は全く流れず、住まいの周りの水環境は虫が棲めるくらいきれいになります。

もう一度、お宅の水周りをご覧になって、町なかの水環境についてみんなで話し合ってみませんか…！

田川市議会議員有志 竹内 徹夫 高瀬 春美 小林 義憲 植木 康太

問い合わせ 田川市番田町7-16 植木 0947-23-0300